

山形県立高畠高等学校3年現代文B 学習指導案

日時 令和4年12月14日(水)6校時

指導者 高畠高等学校 教諭 石山 葉月

生徒 3年3組31名(男子8名、女子23名)

教科書 大修館書店『現代文B』

1 単元名 小説二『ころ』夏目漱石

2 単元の目標

(1) 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、登場人物の内面を理解しようとする。 (知識・技能(1)ア)

(2) 作品の内容や形式について、書評を書いたり、自分の解釈や見解を基に議論したりすることができる。(思考力・判断力・表現力「読むこと」(2)ア)

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。(学びに向かう人間性)

3 指導にあたって

(1) 教材観

『ころ』は教科書に採用され続けている作品である。作品の魅力に気づき、生涯読書に親しむ生徒を涵養したい。また、本教科書に収録された「下 先生と遺書」では、「私(先生)」と「K」の対照的な人柄・ころが描き出されている。情景描写や登場人物の心の機微が細かく表現されているところに注力させながら読み進めることで、ものごとの展開によって移り変わる人間の内面を理解することができる教材である。

(2) 生徒観

真面目な性質の生徒が多いため、問いかけると真剣に考えぬこうとする姿勢や雰囲気がある。今まで取り組んだことのない、長い小説を嫌がっている生徒も散見される。登場人物の「私」や「K」の人柄は感覚的に読んでいる生徒が大半で、物語の展開については、「K」の自殺について疑問を抱く生徒が多かった。3年次は全体的に、ものごとの展開を追ったり、ことばから人間の心情の機微について考えたりすることに難色を示す生徒が多い。

(3) 指導観

生徒観でも述べたように、「感覚的に」読んでいる生徒が多い様子であるため、本文に根拠をもって読ませたい。また、「私」と「K」の異なる性格や、人生観などについても考えさせることで、登場人物の理解を深めたい。生徒は、登場人物を自分とは無関係な人々だと捉えるかもしれないが、誰の心の中にも存在している内面の黒い部分について、身近に考えてもらえるように丁寧に読み、学習を進めたい。

4 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう人間性
心内語や性格・心情を推測することができる語を意識して読もうとしている。	心内語や性格・心情を推測することができる語を意識して読み、登場人物の人柄や心情の変化を正確に読み取るようとする。また、自らが感じた魅力を、使う言葉を吟味し、他者に伝えようとする。	何度も物語を読み返してみたり、物語の表現をヒントに問に向かい、じっくりと作品を味わおうとする姿勢。 (教科書には採録されていない上・中の部分も読み返したり、近代文学に興味を持つような姿勢が見られれば、なお良い。)

5 ESDとの関連

・本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

【多様性】

学習の中で、自分の考えを共有したり、複数の考えを取り入れたりながら自分の思考の整理、深まりを感じることができる。唯一解がない問いも多いため、グループワークや自分の考えを発表したりする活動を通して、多様な視点で物語を味わうことができる。

【連携性】

授業が教師から生徒への一方通行ではなく、授業を受けている生徒全員の思考が深まることで、クラス全体の学びに広がるという感覚を大切にしたい。このように学び合う穏やかな雰囲気を作ることで、クラスメイトが助け合いながら、解のわからない問いにも向かう姿勢が身につく。

言語活動では、作品を通して町の本屋や浜田広介記念館との連携も想定した。

【責任性】

自分が感じた魅力を相手に伝えるという目標を、果たすという責任性。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

【コミュニケーション力】

この単元では、本文や時代背景などを根拠に、できるだけ多くの考えやイメージを言語化して伝えることを大切にを進める。そこで、グループワークや発表の機会を設けることで、生徒は、新たな発想や知らなかった語彙に気づくことができる有効な場だと考えるようになることで、今後も人との関わりを通して学び、吸収する力を育成することができる。

【長期的思考力】

学習中によく考えることができた場面や理解に苦しんだ場面など、卒業後も手に取り考えたり、ふと思い出したりする姿を想定した。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

【人権・文化を尊重する価値観】

本作品の舞台は、明治期の日本であり、西欧との関わりによって文明が大きく花開いた時代である。政治や経済の発展、国力の強化等が進むとともに、様々な価値観や在り方も生まれたと言える。「集団としての個」という考え方をしていた社会に、「自立した個」という考えが入り混じった社会に生きる人間の様子を、登場人物を介して考えることができる。優劣をつけるのではなく、世の中の動きに私達は影響されていることや、現代の私達の在り方を客観的に見直す機会となる。

・達成が期待される SDGs

【4: 質の高い教育をみんなに】

本単元で育成を目指す「魅力を表現する力」を図書館や他学年の目に触れる場所に掲示することで、学びの連鎖ができるのではないかと考える。また、身につけた力を郷土文学(今回は浜田広介作品を想定した)の読後にも活用することで、異年齢との学習にも応用できる。町の良さや郷土の魅力を引き継ぐ人間を育成することができるかと期待している。

6 指導計画(15時間扱い)

時間	学習活動	■指導上の留意点 ◎評価 ◇支援
1	朗読会①	◎聞き手に読み聞かせることを意識して読むことができる。 (振り返りシート)
2	朗読会②	◎聞き手に読み聞かせることを意識して読むことができる。 (振り返りシート)

3	Kの死因について 現段階でKの死因を考える。	◎他者の意見をよく聞き(グループ活動)、自分の考えを まとめることができる。 (プリント)
4	二人の会話① Kのことばを、先生はどのように解釈した のか。	◎プリント
5	二人の会話①続き Kのことばを、先生はどのように解釈した のか。	◎プリント ■Kがこれまでの人生で「精進」一筋で生きてきたことを意 識させる。
6	二人の会話② 私(先生)の発言は、Kにどのような効果 を与えたか、話し合おう。	◎プリント ■先生は、Kの性格をよく理解した上で、効果的な発言を していることを意識できるようにする。
7	テスト返却 二人の会話② 私(先生)の発言は、Kにどのような効果 を与えたか、再度まとめる。	◎プリント ■先生は、Kの性格をよく理解した上で、効果的な発言を していることを意識できるようにする。
8	二人の会話(ラスト) Kの「覚悟」の意味 Kの真夜中の訪問によって変化する私 (先生)の心理を考える。	◎プリント、観察、発言
9 本時	クローズアップ③ 私の「覚悟」から、私にとってKの存在と は？	◎プリント・個人での取り組み→グループでの話し合い を経て、考えのひろがりや、前時までの内容の理解の 深化、またはわからなかったことがわかった、などの変 容。
10 1/12	クローズアップ④ 「K」の自殺について考察する	■時代と人間について考える。 ◎振り返りシート
11 1/16	クローズアップ⑤ ・K視点で物語を読み返す	■クローズアップ④の学習を踏まえ、今まで「先生」視点 でしか読んでいなかったことに気づかせる。 ◎振り返りシート
12 1/18	ポップ作りをしよう① ポップとは何か。 効果的なポップにするには。 身近なポップを探す。	■こだわりを持ってポップを作るように指示。 ・分かった部分・理解が難しかった部分、どちらでも魅力 になる。 ◎疑問文を作り、その疑問文にすることで伝えたい魅力 をまとめる。
13 1/18 1/23	ポップ作りをしよう② 発信したい「こころ」の魅力を吟味し、ポッ プ作りをする。	■本文を抜き出しただけにならないようにする。
14	ポップ作りをしよう②③ 完成したポップを鑑賞する。	図書室に掲示する(仮) ◎作品を紹介し合う。
15 1/26	ポップ作りをしよう④ 地域で愛されている浜田広介氏の作品を 読み、魅力を発信しよう。	「泣いた赤おに」「竜の目の涙」など、すでに知っている 作品にしてもよい。

(1) 本時の目標

- (1) 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、登場人物の内面を理解しようとする。 (知識・技能(1)ア)
- (2) 作品の内容について、自分の解釈や見解を基に議論することができる。(思考力・判断力・表現力 「読むこと」(2)ア)

(2) 指導の過程 (50分 14:30-15:20)

分	□学習活動 ○発問 ☆指示等	■指導上の留意点 ●予想される反応 ◎評価 ◇支援
① 10分	<p>本時の目標の提示「大きな問い」</p> <p>教師が本時で主に読み進めたい部分を朗読する。</p> <p>○「事を運ぶ」とはどうすることか。</p>	<p>●大半の生徒は書き入れることができる。 例1) 奥さんに談判を開く(抜き出す大半) 例2) お嬢さんとの恋愛を進展させる(少数)</p> <p>■この場面で、私がKの「覚悟」をどういう意味に理解したのか確認する。</p>
② 10分	<p>○Q1「平生のKの性格や考え方は？」 Q2「Kより先に、しかもKの知らない間に」事を運ぼうとした私の心理は？」</p> <p>本時の問いを深める問い Q1について Kの平生(普段)の性格が恋の方面に発揮されるといけないのか？</p>	<p>■記入するときにはできるだけ端的に、説明するときには丁寧に。</p> <p>●A「果断に富んだ性格」(展開①で読んだので大半の人は気づくだろう)</p> <p>●B「こうと信じたら一人でどんどん進んでいくだけの度胸も勇気もある」</p> <p>●C「他の思わくをはばかりほど弱くない」など</p> <p>●展開①で読んだ部分だけでなく、BやCのような以前わかった性格を書く生徒もいると思われる。</p>
③ 20分	<p>■グループワーク</p> <p>・Q1、Q2の共有</p> <p>・Kの平生(普段)の性格が恋の方面に発揮されるといけないのか？について</p>	<p>◇話し合いが進んでいないグループには、状況を確認し、適宜サポートする。</p>
④ 5分	<p>■個人で★問いについてまとめる。</p>	<p>◎②個人→③グループ→④個人での変容(プリント)</p>
5分	<p>振り返りシート入力</p>	<p>◎プリント・個人での取り組み→グループでの話し合いを経て、考えのひろがりや、前時までの内容の理解の深化、またはわからなかったことがわかった、などの変容。</p>

言語活動を終えて

- ・魅力がなくて困っているという生徒は意外に少なく、取り組みの様子としては良い雰囲気であった。
- ・ポップの表に疑問文、裏には気づいてほしい・考えてほしい『ころ』の魅力を書かせた。時間的に、デザインする時間を取ることが難しかったので、もう少し視覚的な効果を高める工夫ができるような時間を取ればよかった。
- ・郷土作品まで発展させる時間的余裕がなかった。
- ・自分が考えた疑問文によって伝えたい魅力については、文章表現力で差が出た。具体的に説明してというときできない生徒も多く、ここに理解度も現れているのでは、と感じた。